

**奈良市安全・安心・環境保全チャレンジイベント**

- 子どもを守る奈良市の交通安全 -

- 自動車とカーボンニュートラルな社会の実現 -

奈良市  
Old History,  
New Discovery.

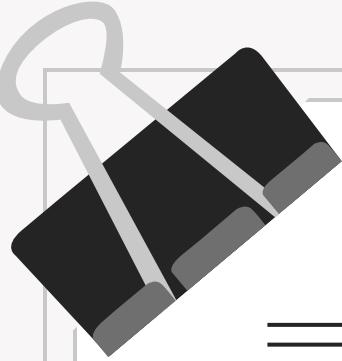
MS&AD あいおいニッセイ同和損保

———— [ REPORT ] ——

# 表彰式・報告会資料

---

2025年10月8日（水）



## [ 目次 ]

01

実証実験（イベント）の内容について

02

実証実験の結果について

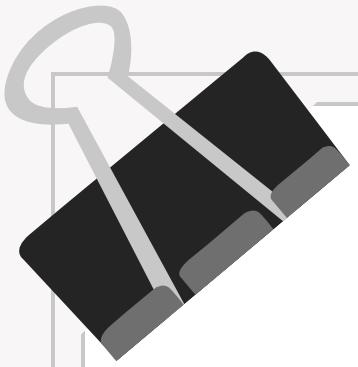
03

事後アンケートの集計結果について

04

イベントデータ等の利活用について



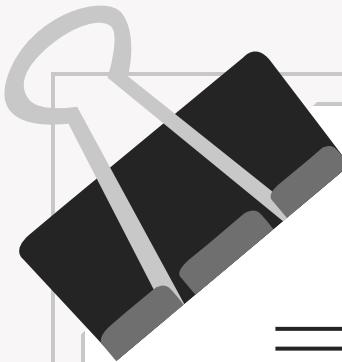


01

---

# 実証実験（イベント） の内容について

---



## [ イベント概要① ]

イベント名

奈良市安全・安心・環境保全チャレンジイベント

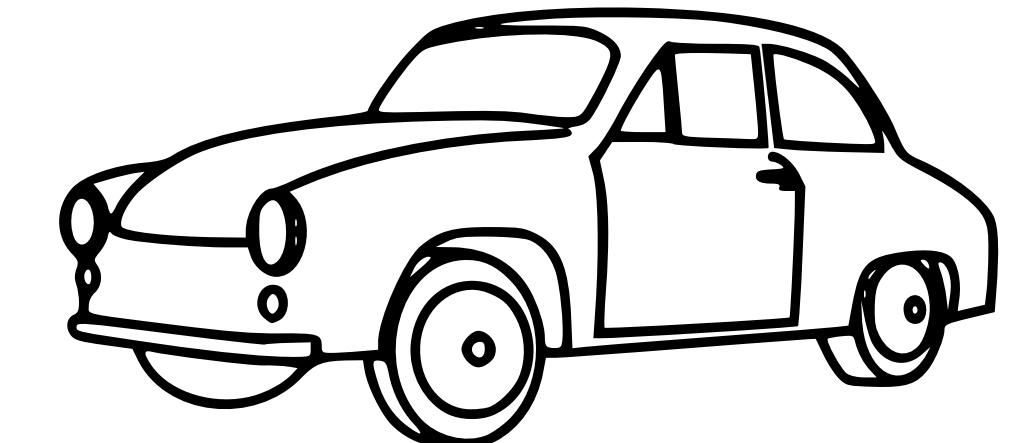
実施期間

令和7年6月1日（日）～同月30日（月）

参加対象

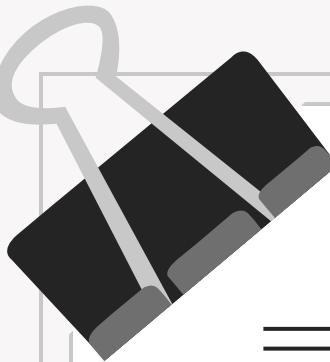
参加費

市内に事業所等を有する法人 ほか  
参加費無料



実施主体

共催：奈良市、あいおいニッセイ同和損害保険会社  
後援：奈良警察署、奈良西警察署、奈良商工会議所



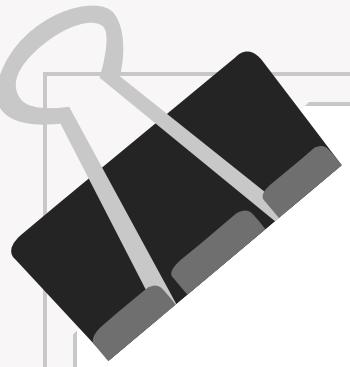
## [イベント概要②]

内容

- ・車載器とスマホアプリを活用し、奈良市内の「交通量・事故の危険のある場所の可視化」と「エコドライブでCO2排出削減量の可視化」ができる体験型イベント
- ・「安全スコア」による法人対抗戦。平均スコア上位3企業には表彰
- ・子どもたちの安全に資する交通安全マップの作成
- ・CO2排出削減量の可視化
- ・安全運転への意識醸成と危険箇所への気づき

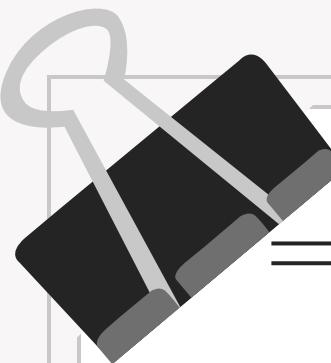
目的

配送や営業等の運転を伴う業務の中で、客観的に安全運転技術とCO2排出削減量の確認が可能となり、併せてイベント内において運転スコアを競い、安全運転や環境に配慮した運転につなげることで、安心・安全なまちづくりと環境に優しいクルマ社会づくりに貢献。



02

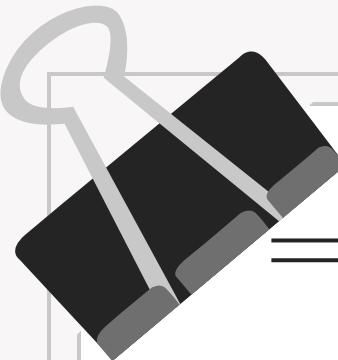
## 実証実験の 結果について



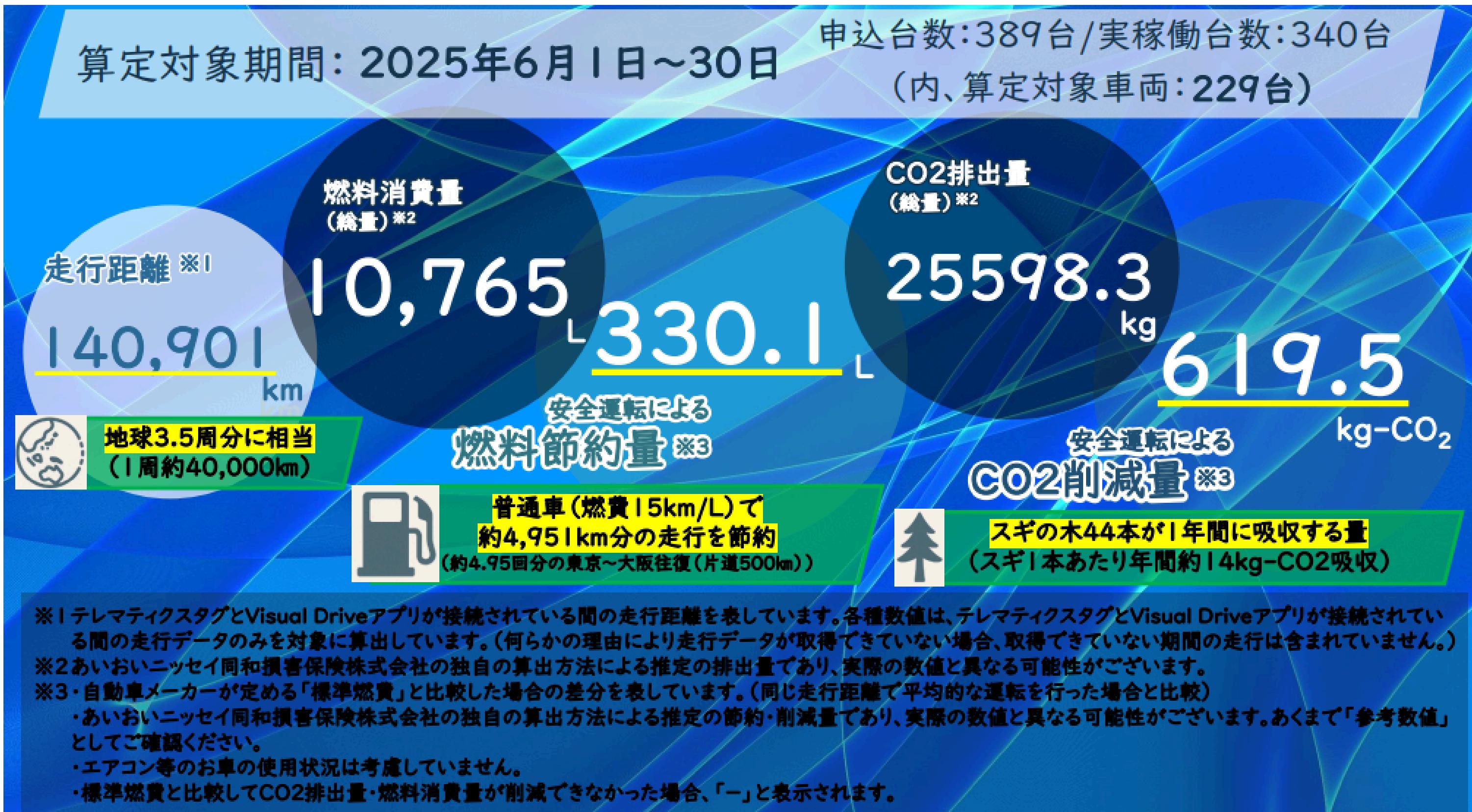
## [参加企業一覧]

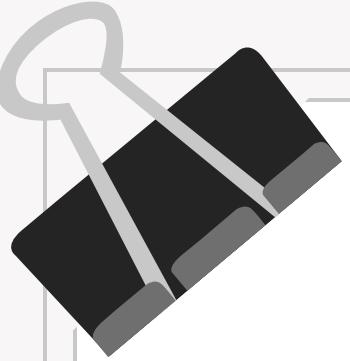
参加企業数：31社、申込台数：389台/実稼働台数：340台（申込順）

1、有限会社 保険セントラル	2、株式会社 キノシタ	3、株式会社 トヨタレンタリース奈良
4、三和住宅 株式会社	5、有限会社 保険プラン社	6、株式会社 KRC 奈良中央支社
7、株式会社 保険naracoco	8、あいおいニッセイ同和インシュアラン スサービス 株式会社 奈良支店	9、奈良ダイハツ 株式会社
10、利光自動車 株式会社	11、株式会社 山上組	12、トヨタユナイテッド奈良 株式会社
13、株式会社 公益社	14、株式会社 服部商事	15、株式会社 たいよう共済 奈良支店
16、奈良トヨタ 株式会社	17、三岡商事 株式会社	18、株式会社 asrut
19、株式会社 ベルコ	20、社会保険労務士 中村事務所	21、ルーシープラネット 株式会社
22、南都商事 株式会社	23、株式会社 カーケアオークボ	24、株式会社 ライフアートコミュニティ
25、奈交自動車整備 株式会社	26、日本生命保険相互会社 奈良支社	27、ダイワ精密プレス 株式会社
28、谷建設 株式会社	29、株式会社 翔星建設	30、市民生活協同組合 ならコーポ
31、株式会社CWS		



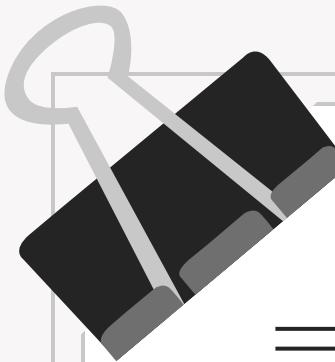
## [イベント結果について]





03

## 事後アンケートの 集計結果について



## [事後アンケート集計結果①]

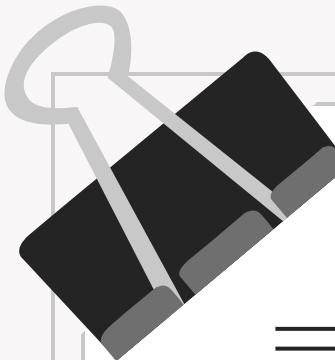
〈回答者数：63〉

### 基本属性

#### ・年齢について

10代	0
20代	2
30代	9
40代	15
50代	32
60代以上	5



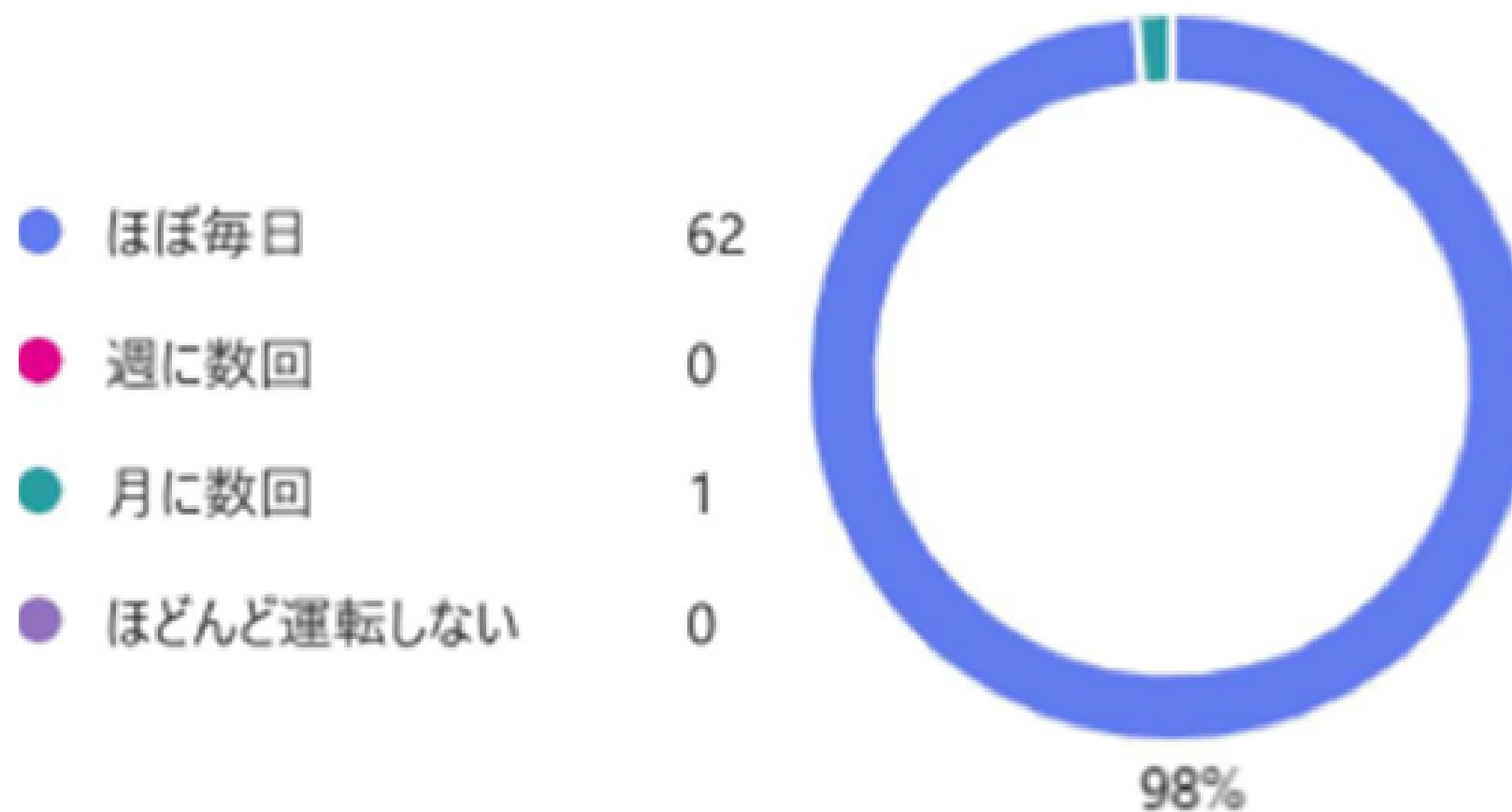


## [事後アンケート集計結果②]

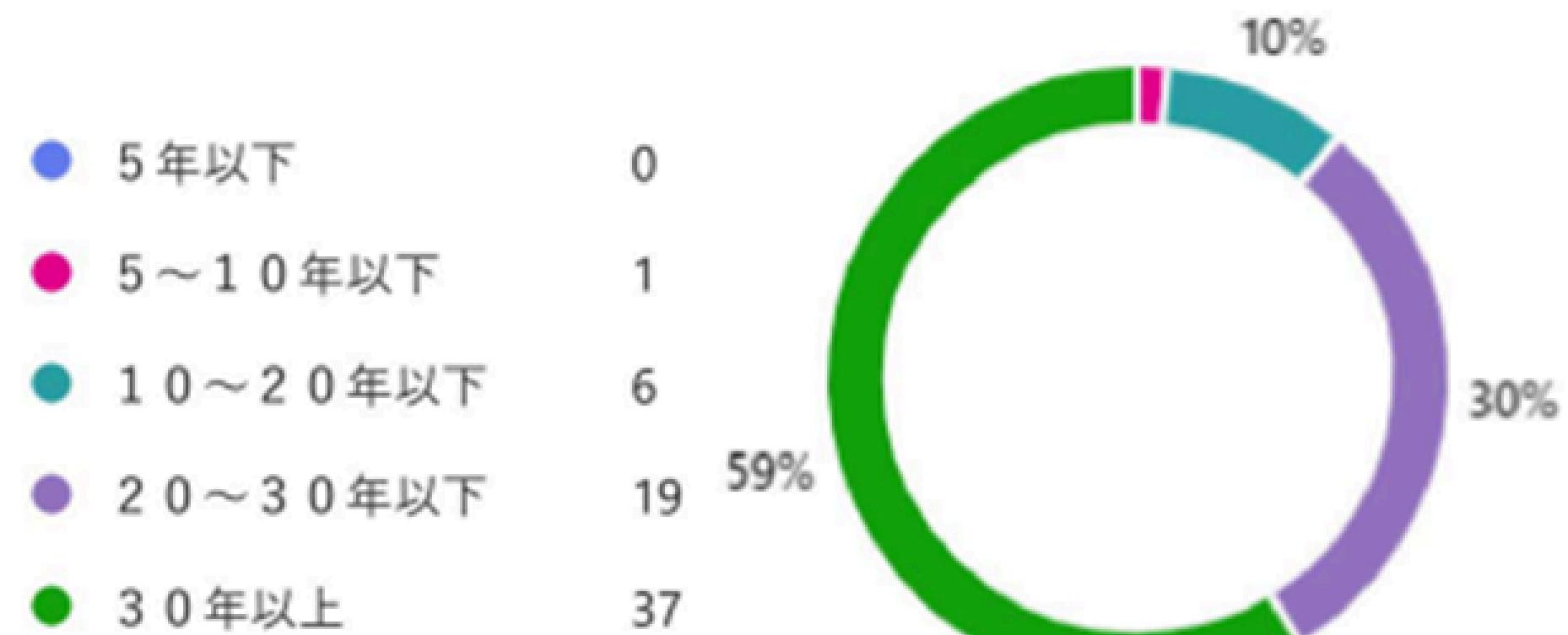
〈回答者数：63〉

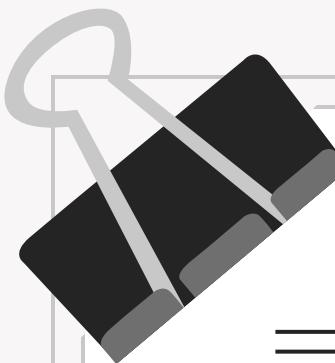
### 基本属性

#### ・普段の運転頻度について



#### ・運転歴について



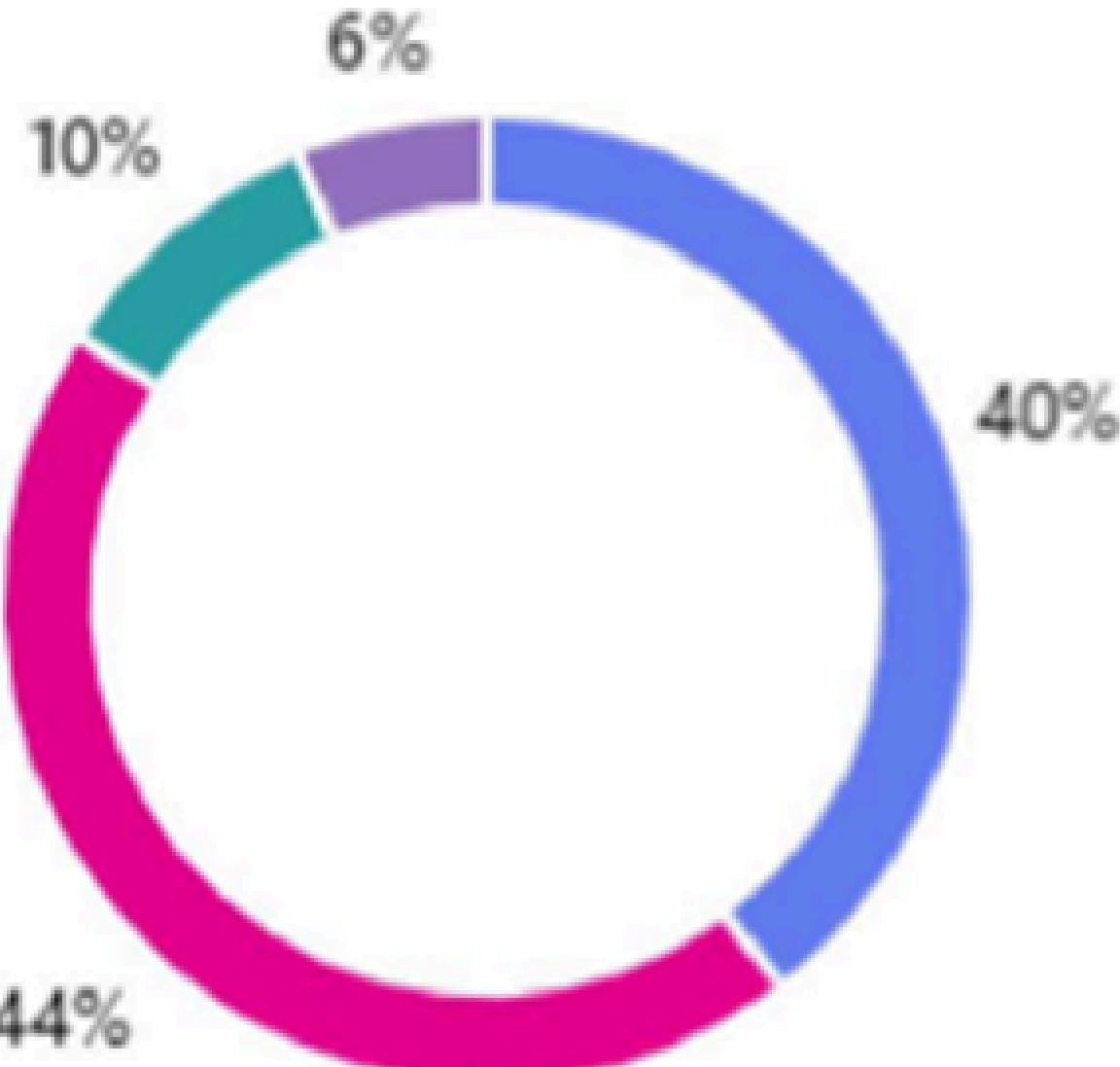


## [事後アンケート集計結果③]

〈回答者数：63〉

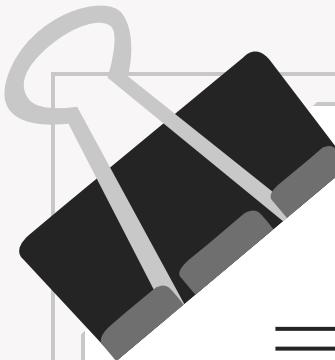
### 参加後の変化（意識・行動）

- とても変わった 25
- 少し変わった 28
- あまり変わらない 6
- 変わらない 4



- 実証実験に参加して、自分の運転への意識は変わりましたか？

約84%（53名/63名）の方の運転意識に変化が！



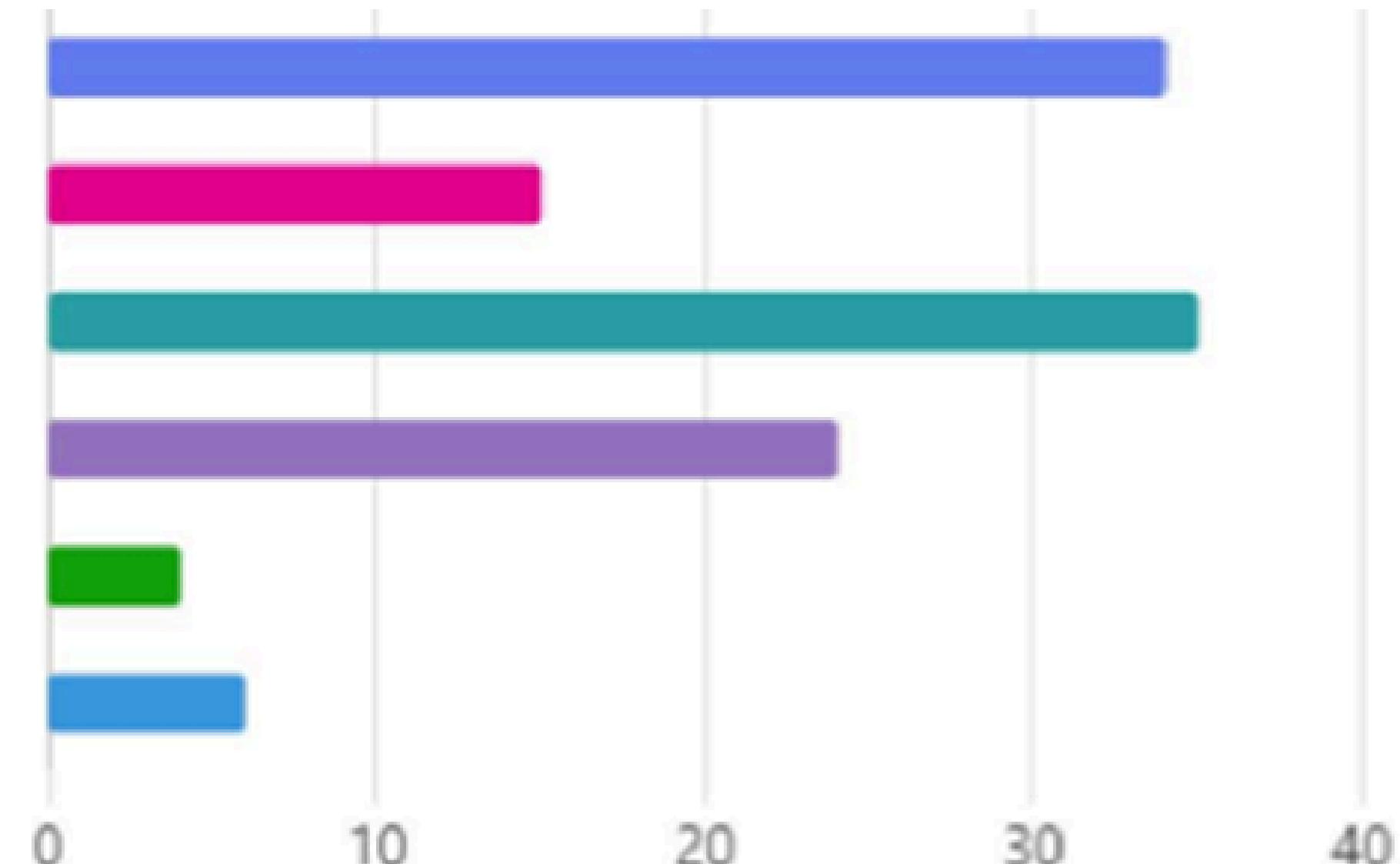
## [事後アンケート集計結果④]

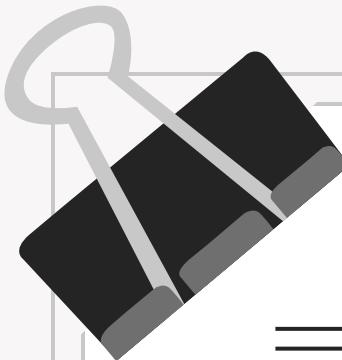
〈回答者数：63〉

### 参加後の変化（意識・行動）

- 実証実験を通じて、特に意識するようになった運転行動は？（複数選択可）

● 急ブレーキを避ける	34
● 急ハンドルを控える	15
● スピードを控えめにする	35
● 携帯電話などのながら運転を控える	24
● アイドリングを控える	4
● その他	6





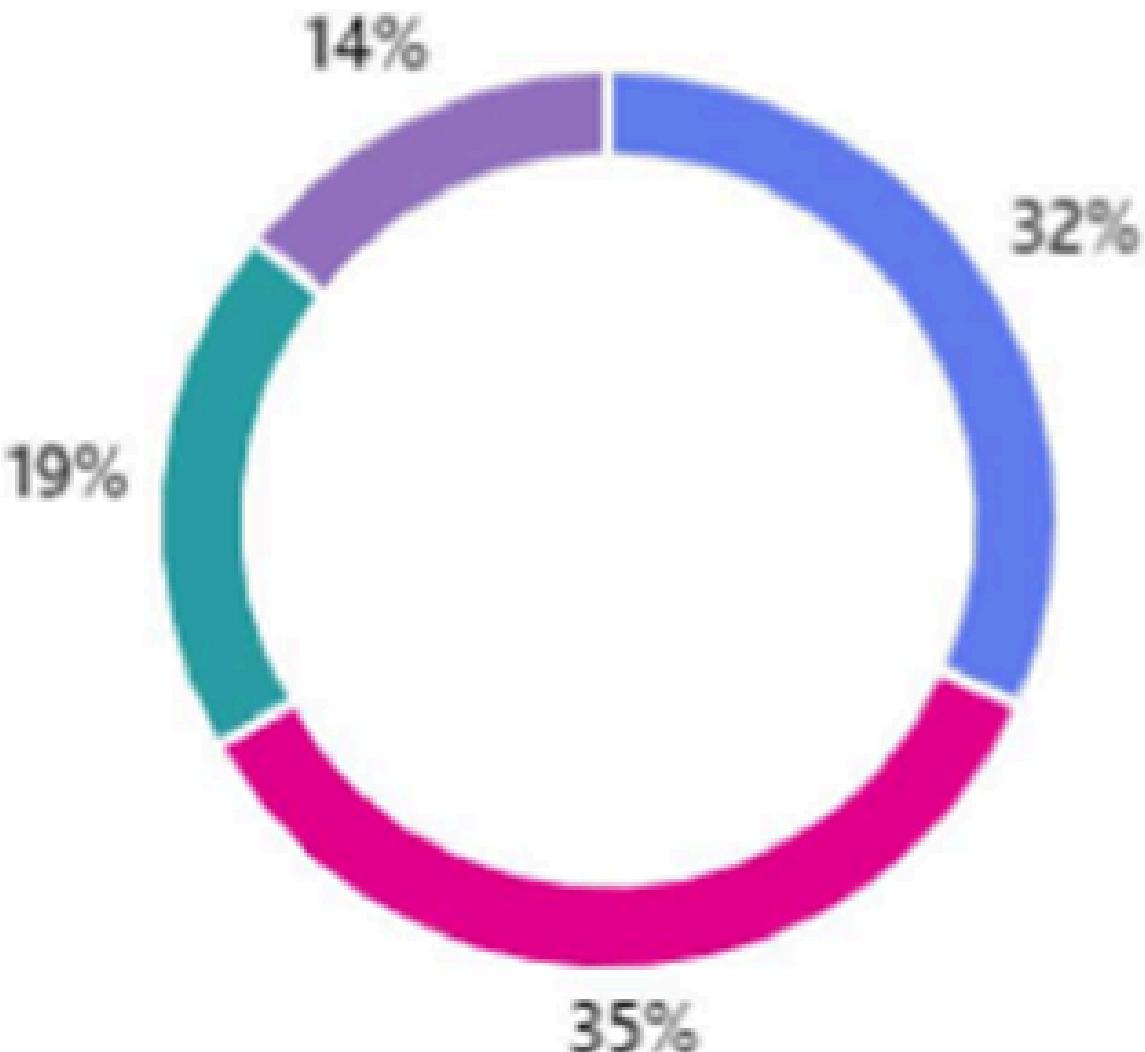
## [事後アンケート集計結果<sup>⑤</sup>]

〈回答者数：63〉

### 参加後の変化（意識・行動）

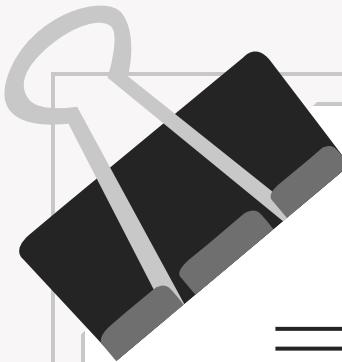
- 実証実験に参加したことで、CO2排出量や環境への影響を意識するようになりましたか？

● はい	20
● どちらかというと はい	22
● あまりない	12
● ない	9



約67%（42名/63名）の方  
の環境への意識に変化が！





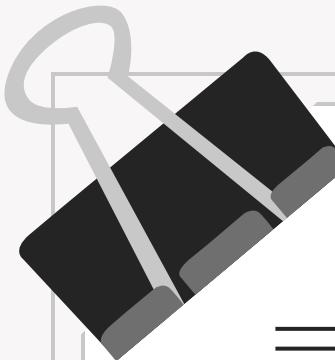
## [事後アンケート集計結果⑥]

交通安全に関する気づき

- 実証期間中に「ここは危険だ」と感じた場所があれば、自由に記載してください。(一部抜粋)



- インターの時間帯渋滞学園前
- 大安寺交差点（東方面から県道に合流する道路幅が狭く、見通しも悪い。少しズレている十字交差点の為、右折がイレギュラーな進入となり、始めての方だと衝突の危険性あり）
- 京奈和自動車道樋原出入口（40キロ規制の為速度を落とすと追突されそうになる。）
- 京奈和自動車道 奈良行き 郡山インター（毎朝渋滞しており、ワインカーを出さずに割り込み、二輪車のすり抜けなど、急ブレーキをする場面が、頻繁にあった）
- 京奈和道の合流地点、周りの車のスピードが早く、追突されるのではとヒヤヒヤした



## [事後アンケート集計結果<sup>⑦</sup>]

〈回答者数：63〉

### 全体評価と今後への意見

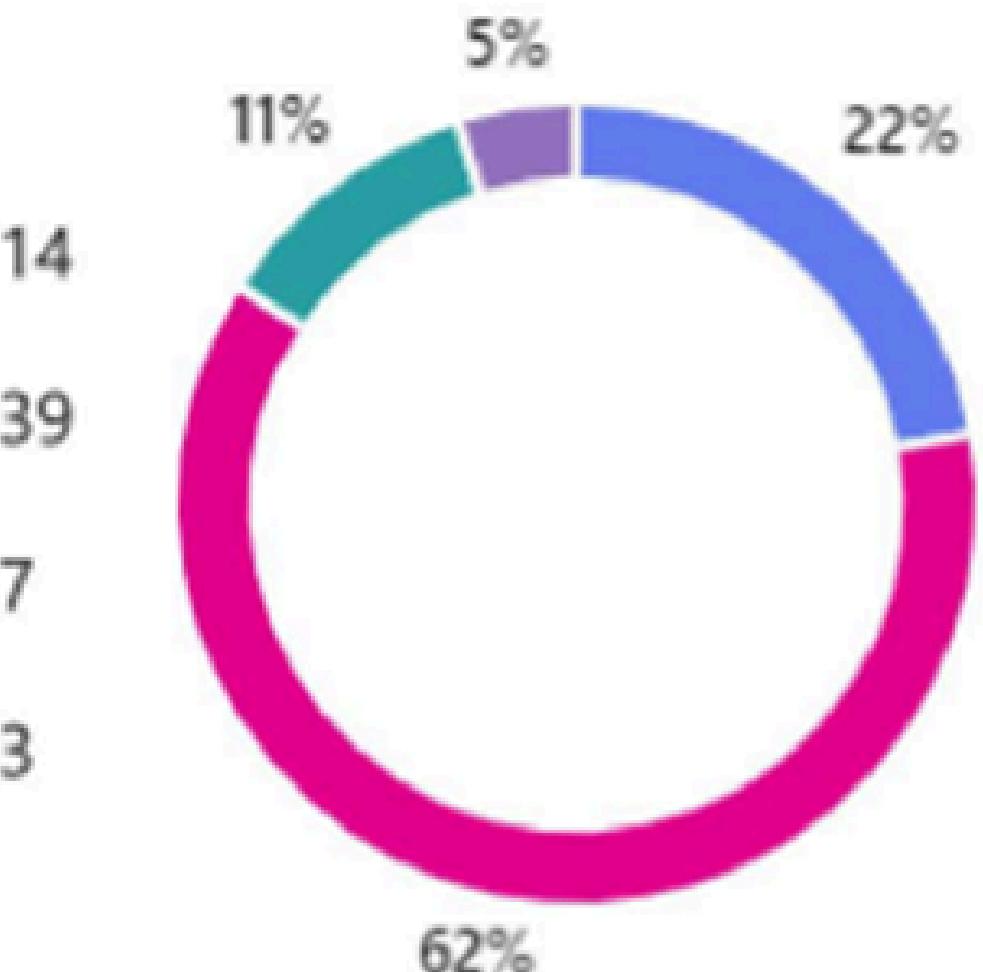
- 実証実験全体の満足度を教えてください（10点満点）

7.48（平均評価）



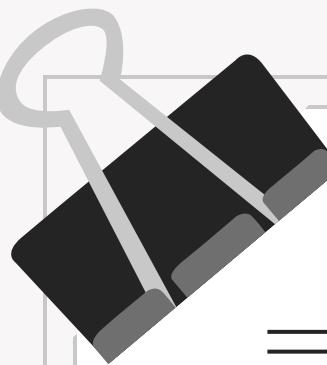
- 今後、こうした取り組みがある場合、参加したいと思いますか？

- 積極的に参加したい
- 機会があれば
- あまり興味がない
- 参加したくない



約84%（53名/63名）の方が参加したいと回答！





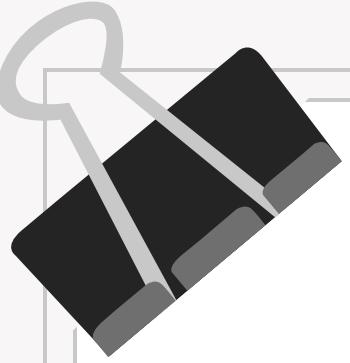
## [事後アンケート集計結果⑧]

### 全体評価と今後への意見

- ・今回の取り組みについて、良かった点・改善してほしい点などあれば自由にご記入ください。(一部抜粋)

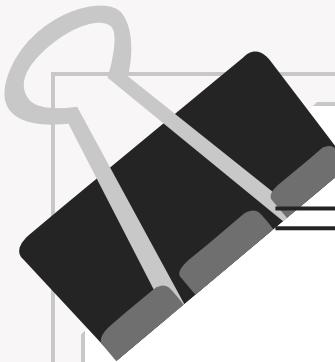
- ・今後、全営業車に標準で搭載されたら事故防止に効果的と思います。
- ・自分の運転を見直すよい機会になった。事故のポイント改善良いと思います。
- ・運転意識が変わったのでよかったです。
- ・横断歩道の手前で少し減速する意識が出来た。
- ・ゆっくり運転する事により、より安全性が高まることがわかりました。
- ・参加中は燃費が上がって良かったです。自分の運転の癖など気付きました。
- ・高齢ドライバーの運転特性傾向の把握に繋がると良いなと感じます。
- ・このアプリでみんなが意識すれば事故は減少すると思います。
- ・安全運転やCO2排出量削減への意識が高まるので良い企画だと思います。





04

## イベントデータ等の 利活用について

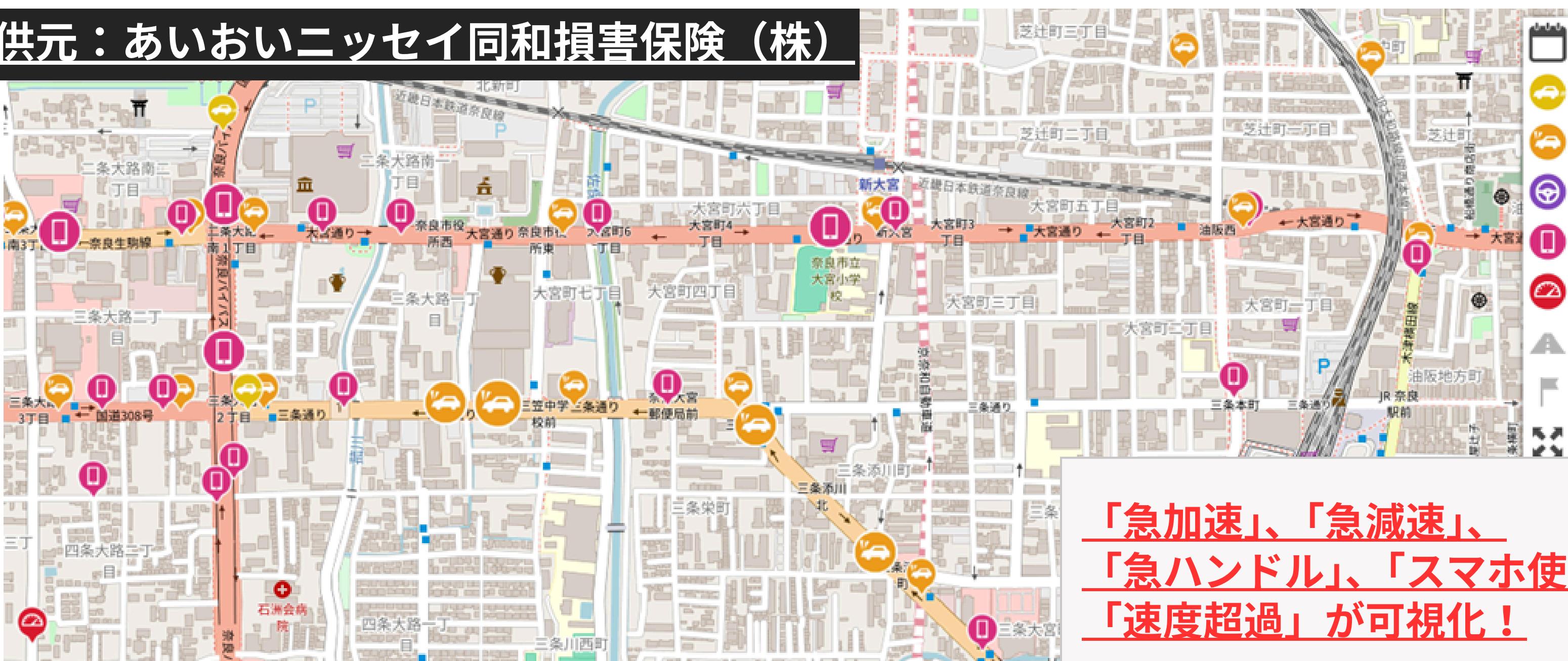


## [イベントデータの利活用①]

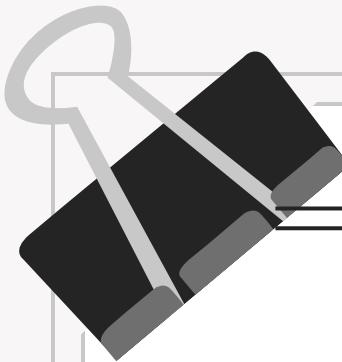
### 交通安全マップ①

①本イベントの走行データより、交通安全マップ①を作成

提供元：あいおいニッセイ同和損害保険（株）



「急加速」、「急減速」、  
「急ハンドル」、「スマホ使用」、  
「速度超過」が可視化！



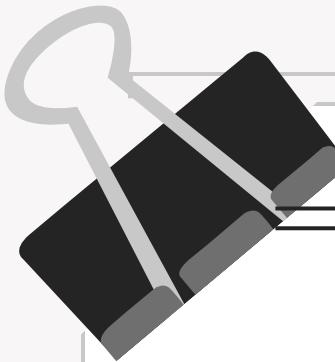
## [イベントデータの利活用②]

交通安全マップ①

①本イベントの走行データより、交通安全マップ①を作成



- 市ホームページへの掲載（市民の方へ広く展開・啓発）
- 警察署や商工会議所、参加企業への提供（啓発・各施策に活用）
- 市の各分野において活用
  - 通学路の点検等に係る参考資料や交通安全教室の参加者に危険箇所を明示することをはじめとした基礎資料として活用を予定



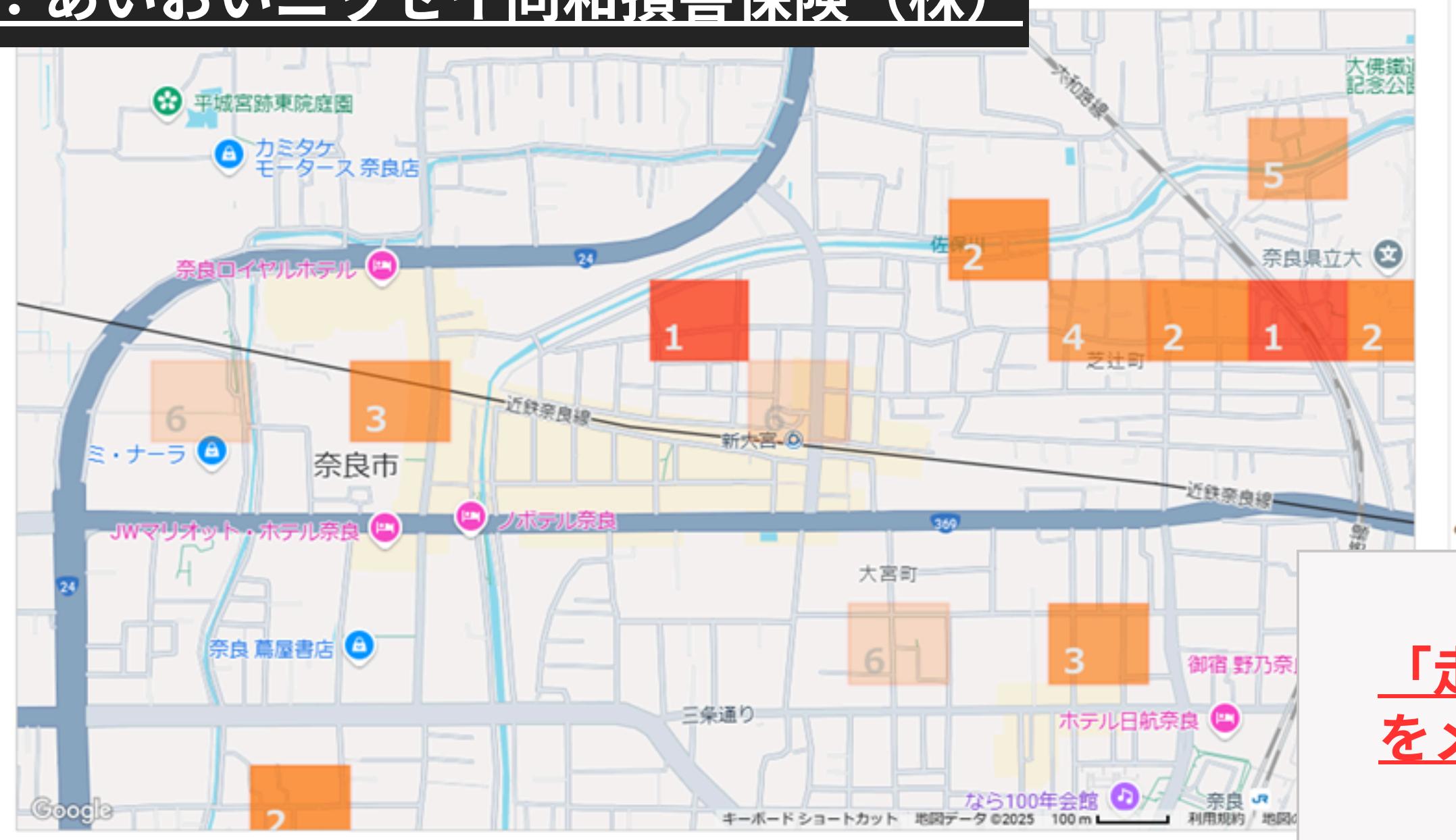
## [イベントデータの利活用③]

### 交通安全マップ②

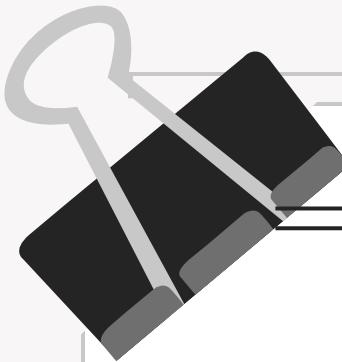
②同社から、保険契約者の走行データより  
作成された交通安全マップ②（通常版・保育版）が提供

提供元：あいおいニッセイ同和損害保険（株）

通常版



「走行量」と「急減速率」  
をメッシュで可視化！



## [イベントデータの利活用④]

### 交通安全マップ②

②同社から、保険契約者の走行データより  
作成された交通安全マップ②（通常版・保育版）が提供

提供元：あいおいニッセイ同和損害保険（株）

保育版（参考：伏見こども園周辺）

#### ■交通量（交通量が多い個所を表示）

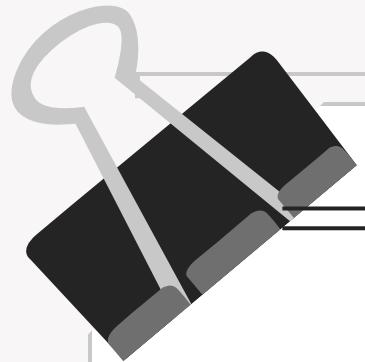


園周辺（半径700M）の「交通量」・「急減速  
発生率（事故の危険箇所）」を地図上に可視化

#### ■急減速発生率（事故の危険個所を表示）



市内の各保育施設  
(私立・公立)付近の  
危険箇所を可視化！



## [イベントデータの利活用⑤]

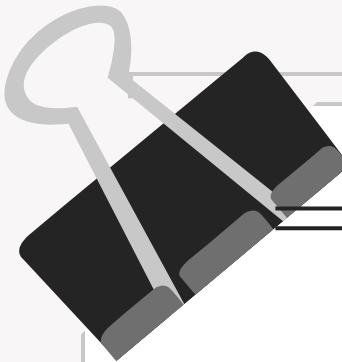
交通安全マップ②

②同社から、保険契約者の走行データより  
作成された交通安全マップ②（通常版・保育版）が提供

情報の取り扱い等の観点から、市ホームページへの掲載は不可

警察ならびに奈良市にて活用

- 奈良県警察本部への提供（啓発・警察行政に活用）
- 市の各分野において活用
  - 市内の各公立・私立園や保護者へ配布し、園周辺や通園経路における危険箇所の確認はもちろんのこと、園外の散歩コースの点検等を促進。
  - その他、幅広に活用に係る検討を進める。



## [イベント成果まとめ]



1. 31の市内企業（申込台数：389台/実稼働台数：340台）が参加。  
事後アンケートの結果的にも、安全運転を心掛けていただくきっかけとなった
2. イベントを通じて、使用燃料の節約（約330L）やCO<sub>2</sub>削減（約619kg-CO<sub>2</sub>）を達成
3. 走行データを基に交通安全マップ①を作成（危険箇所の可視化・交通安全意識の向上）
  - a. 市、警察、関係各所、市民（市ホームページ公開、しみんだより）等へ幅広に展開
4. 同社保険契約者の走行データを基にした交通安全マップ②が本市へ提供  
以下、交通安全マップ①と併せての活用予定
  - a. 交通安全教室にて危険箇所を明示することをはじめとした基礎資料として活用予定
  - b. 通学路の点検、市内の各公立・私立園や保護者へ配布し、園周辺や通園経路における危険箇所の確認はもちろんのこと、園外の散歩コースの点検に活用予定



**本イベントは、次年度以降もあいおいニッセイ同和損保や警察ならびに市内企業等と連携し、継続的に取り組む予定。（持続可能な安心で安全なまちづくりへ）**